

平成29年度  
教育委員会事務の点検及び評価報告書



平成30年11月  
野辺地町教育委員会

## 報告書発刊にあたって

この報告書は、野辺地町教育委員会が、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、平成29年度に実施した教育委員会の諸事業について、「第2期野辺地町教育振興基本計画」と照らし合わせ「教育委員会事務の点検及び評価」をした結果をまとめたものです。

点検及び評価した事務事業は、学校教育課が22、社会教育・スポーツ課が31、中央公民館が4、図書館が7、歴史民俗資料館が9、合計73の事務事業について実施しました。

まず最初に、第一次評価として、担当者自らが事業の「成果や課題」を捉えるとともに、「担当者自己評価」を4段階法で実施しました。

次に、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図り、客観性・公平性を確保するために、外部有識者5名を委嘱し、「野辺地町教育委員会事務評価委員」を組織して検討を重ね同じく4段階法により総合評価を実施しました。

長期にわたり御審議いただいた教育委員会事務評価委員の方々の御足労に感謝すると共に、御指導いただいた意見については真摯に受け止め、各事務事業担当課が今後の改善に向けての取り組みの大きな課題として、各事業がより一層効果を高めるための取り組みや、より効率的な実施方法の見直し等について、活用していきたいと思えます。

また、本報告書は教育関係者のみならず広く町民に公表するとともに、野辺地町議会に提出して御指導を仰いでまいります。

結びに、報告書をまとめるにあたって御尽力いただいた関係各位に改めて厚く御礼申し上げ、更なる野辺地町の教育振興に努力して参ります。

平成30年11月

野辺地町教育委員会 教育長 河島靖岳

# 報告書目次

1. 教育委員会基本方針	P 1
2. 教育委員会委員構成	P 1
3. 平成29年度野辺地町教育委員会審議状況	P 2
4. 教育委員会事務の点検及び評価について	P 5
(1) 趣旨	P 5
(2) 点検及び評価の実施	P 5
(3) 点検・評価の構成	P 5
5. 平成29年度教育委員会施策別主要事務事業の総合評価	P 7
6. 事務評価委員の施策分野の総括・総評	P 10
(1) 教育委員の活動	P 10
(2) 学校教育	P 10
(3) 社会教育・スポーツ	P 11
(4) 歴史・文化・芸術	P 12
(5) 総評	P 13

## 1. 教育委員会基本方針

野辺地町教育委員会は、一人一人の子どもが、郷土をより一層愛する心を育み、次世代の町を担い、国内外で活躍できる「人財」の育成を目標とする。学校教育においては、確かな学力・豊かな心・健やかな体の3つの調和がとれた「野辺地っ子」を町が目指す子どもの姿として掲げる。また、社会教育・スポーツにおいては「ふれあい教育の日」を今後も継続することで生涯学習の充実と心身ともに健康な人づくり、地域づくりを目指していく。

また、町民憲章に謳われている「真実と友愛のあふれる明るく住みよい町」をつくるため、「烏帽子岳のような誇り高い文化と教育の町」の実現へ向け努めていく。

1. **かしこい** … 世界へ漕ぎ出す、知恵の波が満ちる十符ヶ浦のような  
「かしこい野辺地っ子」

2. **やさしい** … 季節の彩りを楽しませ、心を和ませる愛宕山のような  
「やさしい野辺地っ子」

3. **たくましい** … 風雪に負けることなく、どっしりとした烏帽子岳のような  
「たくましい野辺地っ子」

4. **しなやかな** … 時代の流れを変えつつ、涸れることのない野辺地川のような  
「しなやかな野辺地っ子」

## 2. 教育委員会教育委員構成

(平成30年4月1日現在)

区 分	氏 名	委 員 任 期
教 育 長	河 島 靖 岳	平成29年10月 1日～平成32年 9月30日
委 員 (職務代理者)	横 濱 秀 一	平成27年12月20日～平成31年12月19日
委 員	野 坂 幸 子	平成29年10月 1日～平成33年12月19日
委 員	中 村 公 允	平成26年10月 1日～平成30年 9月30日
委 員	林 亨	平成28年10月 1日～平成32年 9月30日

※平成30年10月1日より引き続き、中村公允 氏に委嘱する。

### 3.平成29年度野辺地町教育委員会審議状況

会議	開催日時	開催場所	付 議 事 項	
4 月 定 例 会	4/27 (木) 13:30	中央 公民館	報告第7号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			報告第8号	県費負担非常勤講師の辞令について
			報告第9号	県費負担非常勤講師の辞令について
			報告第10号	県費負担非常勤講師の辞令について
			報告第11号	小中学校事務の共同実施に係る事務職員の兼務発令に係る内申について
			報告第12号	学校評議員の委嘱について
			議案第4号	野辺地町教育委員会の所管に属する学校職員の任用について
			議案第5号	野辺地町社会教育委員の委嘱について
			議案第6号	野辺地町中央公民館運営審議会委員の委嘱について
			議案第7号	野辺地町馬門公民館運営審議会委員の委嘱について
			議案第8号	野辺地町図書館協議会委員の委嘱について
			議案第9号	野辺地町文化財審議会委員の委嘱について
			議案第10号	野辺地町スポーツ推進委員の委嘱について
その他	第1回総合教育会議について			
5 月 定 例 会	5/26 (金) 10:00	中央 公民館	報告第13号	県費負担特別非常勤講師の辞令について
			報告第14号	県費負担特別非常勤講師の辞令について
			報告第15号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			報告第16号	野辺地町学校給食共同調理場管理運営委員会の委嘱について
			議案第11号	野辺地町就学援助費支給要項の一部改正について
6 月 定 例 会	6/21 (火) 9:30	中央 公民館	その他	東北六縣市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会について

会議	開催日時	開催場所	付 議 事 項	
7 月 定 例 会	7/26 (水) 9:30	中央 公民館	報告第17号	野辺地町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
			報告第18号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			その他	①平成29年度野辺地町社会教育推進事業費補助金交付要綱について ②野辺地町社会体育推進事業費補助金交付要綱について ③野辺地町新総合体育館（仮称）建設検討委員会設置要綱（案）について
8 月 定 例 会	8/22 (火) 9:30	中央 公民館	報告第19号	育児休業の承認について
			報告第20号	野辺地町教育委員会の所管に属する学校職員の任用について
9 月 定 例 会	9/23 (金) 9:30	中央 公民館	報告第21号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			報告第22号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			議案第12号	全国学力学習状況調査における小学校調査と中学校調査の調査結果の連携について
10 月 定 例 会	10/24 (火) 9:30	中央 公民館	報告第23号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			報告第24号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			その他	野辺地町立図書館の管理運営に関する規則の一部を改正する規則について
11 月 定 例 会	11/21 (火) 14:00	中央 公民館	報告第25号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			その他	①第2回総合教育会議の開催について ②平成28年度事務評価の結果について
12 月 定 例 会	12/19 (火) 14:00	中央 公民館	報告第26号	県費負担教職員の休職に係る内申について
			議案第27号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			議案第28号	県費負担教職員の復職に係る内申について
			議案第11号	野辺地町学校給食滞納整理等事務処理要綱について

会議	開催日時	開催場所	付 議 事 項	
1 月 定 例 会	1/23 (火) 9:30	中央 公民館	報告第1号	野辺地町就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令について
			報告第2号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			報告第3号	県費負担教職員の懲戒処分に係る内申について
			その他	①平成29年度文化・スポーツ賞「功労賞・指導者賞」の候補者について ②野辺地町新総合体育館（仮称）建設事業基本構想・基本計画（案）について ③青森県中学校スキー大会結果について
2 月 定 例 会	2/21 (水) 9:30	中央 公民館	報告第4号	県費負担教職員の復職調整に係る内申について
			報告第5号	県費負担教職員の採用に係る内申について
			その他	①第48回青森県小学生スキー大会の結果について ②平成29年度野辺地町文化賞・スポーツ賞及び野辺地町教育委員会文化賞・スポーツ賞授与式について ③平成29年度卒業式及び平成30年度入学式の出欠について
3 月 定 例 会	3/24 (金) 14:00	中央 公民館	報告第6号	条件付採用者に係る正式採用の可否についての内申（具申）について
			報告第7号	県費負担教職員の育児休業に係る内申について
			報告第8号	県費負担教職員の移動に係る内申について
			報告第9号	小中学校事務の共同実施に係る事務職員の兼務発令に係る内申について
			議案第2号	野辺地町教育委員会の所管に属する学校職員の任用について
			議案第3号	野辺地町就学指導委員会規約の一部を改正する訓令について

## 4. 教育委員会事務の点検及び評価について

### (1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、教育委員会は、毎年その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされている。

野辺地町教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進及び町民への説明責任を果たすことを目的として、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、その結果を報告書としてまとめた。

(参考)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務、同条第四項の規定により事務職員等に委任された事務を含む）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### (2) 点検及び評価の実施

点検及び評価の実施にあたっては、第2期野辺地町教育振興基本計画及び平成29年度野辺地の教育において掲げている平成29年度における教育委員会の主な活動や事務事業を対象として実施する。

- ・ 施策分野・・・4分野（教育委員会、学校教育、社会教育・スポーツ、歴史・文化・芸術）
- ・ 基本施策・・・28項目
- ・ 主要事務事業・・・73事業（各担当課等が扱う主要な事業を選定し点検評価）

### (3) 点検・評価の構成

#### ア 点検評価の手順

施策別重点項目一覧に基づく主要事務事業について、各担当者が一次評価を実施し、教育長に提出する。

教育長は、事務評価委員に点検及び評価の実施方法及び内容等について意見を求めるとともに、点検・評価の結果に関する報告書を作成し、教育委員会定例会において説明の機会を設け、教育委員からの理解を求める。



イ 点検評価基準

平成29年度野辺地町教育委員会事務事業点検・評価

A	優れた取組みが多く、十分成果が上がっている
B	優れた取組みがいくつかあり、成果が上がっている
C	成果が十分上がっておらず、改善の余地が多い
D	成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要

ウ 点検・評価の経緯

(ア) 「野辺地町教育委員会事務評価委員」

委嘱期間 平成30年6月29日～平成32年3月31日

野辺地町教育委員会事務評価委員

役職名	氏名	職業等
委員長	高田 誠	野辺地小学校長
委員	前田 智子	町社会教育委員
委員	江刺家 忍	町体育協会理事
委員	村木 亜弓	町商工会女性部副部長
委員	柴崎 正洋	町連合PTA会長

(イ) 事務評価委員会の開催等

第1回目 平成30年 6月29日(金) 午後3:30 中央公民館
・委嘱状の交付
・今後のスケジュールについて
第2回目 平成30年 8月 1日(水) 午後2:30 中央公民館
・平成29年度事業説明(学校教育課、学校給食調理場)
第3回目 平成30年 8月 8日(水) 午後2:30 中央公民館
・平成29年度事業説明(社会教育・スポーツ課)
第4回目 平成30年 8月21日(火) 午後2:30 中央公民館
・平成29年度事業説明(中央公民館、図書館、歴史民俗資料館)
第5回目 平成30年 8月29日(水) 午後6:00 中央公民館
・各委員の評価をもとに総合評価を調整し、委員の意見集約
第6回目 平成30年10月12日(金) 午後6:00 中央公民館
・点検・評価の結果に関する報告書のまとめ
教育委員会定例会へ報告(11月下旬)
町議会へ報告書提出及び町ホームページに掲載公表(12月)

(ウ) 教育委員会定例会開催

平成30年11月開催の教育委員会定例会において、事務の点検及び評価・報告書について説明し、教育委員からの理解を求める。

## 5. 平成29年度教育委員会施策別主要事務事業の総合評価

施策分野			
	基本施策	主要事務事業	総合評価
1. 教育委員会			
	(1) 教育委員の活動	1 教育委員の活動	B
2. 学校教育			
	(1) 授業の充実	2 学力向上指導員の配置	B
		3 学力向上支援事業（人財育成助成金）	B
	(2) 道徳教育の充実	4 スクールカウンセラーの配置	B
	(3) 特別活動の充実	5 小・中作品展の開催及び音楽交歓会の開催	A
	(4) 体育・健康教育の充実	6 バイキング給食の日	A
		7 学童スキー大会の開催	B
		8 大会派遣費補助事業費	A
	(5) 生徒指導の充実	9 生徒指導委員会の充実	B
	(6) キャリア教育の推進	10 職場体験	B
	(7) 特別支援活動の充実	11 スクールサポーター配置の充実	A
(8) 国際化、情報化に対応する教育の推進		12 英語で元気な町づくり事業	B
		13 まちづくりALT派遣事業	B
		14 児童生徒及び教師へタブレット端末導入に向けた検討	C
	(9) 研修の充実	15 教職員ふるさと研修	B
	(10) 教育環境の充実	16 野辺地町立小中学校耐震化事業	B
		17 学校施設営繕・設備保全	B
		18 教材備品の整備	B
	(11) その他	19 給食費の未納対策強化	A
		20 就学援助費事業	B
	(12) 学校支援活動	21 学校支援推進事業	B
	(13) 学校保健の取組み	22 児童・生徒各種健診及び教職員特定健診	A

施策分野			
	基本施策	主要事務事業	総合評価
3. 社会教育・スポーツ			
(1) 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進	1	のへじ元気講座	B
	2	ハッチョウトンボ観察会	B
	3	文化賞授与式	A
	4	馬門公民館教養講座	B
	5	みんなの教室（中央公民館）	A
	6	野辺地町文化祭（中央公民館）	B
	7	成人式（中央公民館）	B
	8	各世代に対応した図書館事業の実施（図書館）	B
	9	各種広報活動の充実（図書館）	B
(2) 次世代を担う青少年の育成	10	子ども会事業	A
	11	ふるさと探偵団	B
	12	ふれあい通学合宿	A
	13	ふれあい教育フェスティバル	A
	14	在学青年ボランティア	B
	15	文化少年団活動（中央公民館）	B
	16	子どもの読書活動の充実（図書館）	B
(3) 地域を支える人材の育成	17	生涯学習大学	A
	18	男女共同参画職員研修	B
	19	図書館サークル・おはなしボランティアの育成（図書館）	B
(4) 学校・家庭・地域の連携による社会全体の教育力の向上	20	家庭教育推進事業	B
	21	いのちのお話出前講座	A
	22	親子ふれあい読書の奨励（図書館）	B
	23	学校等と連携協力した読書活動の推進（図書館）	A
(5) 社会教育推進のための基盤整備	24	社会教育団体の支援 子ども会育成連絡協議会、 連合PTA、地域婦人団体連合会、 文化振興協議会の活動支援	A
	25	図書館施設の整備（図書館）	A

施策分野			
	基本施策	主要事務事業	総合評価
3. 社会教育・スポーツ			
(6) 生涯スポーツの普及・振興	26	町スポーツ賞、教育委員会スポーツ賞の表彰	A
	27	健康ウォーターマラソンスタンプラリーの開催	B
	28	青森県民スポーツレクリエーション祭参加	B
	29	学校体育施設の開放促進	B
	30	総合型地域スポーツクラブの検討	B
	31	水泳教室開催	B
(7) 青少年スポーツの振興	32	スポーツ少年団への支援と育成	B
	33	町営球場開設記念兼ライオンズクラブ旗争奪中学校野球大会の支援	B
	34	青森県小学生スキー大会の開催	A
(8) 競技スポーツの推進	35	青森県民駅伝競走大会選手強化支援	B
	36	町体育協会活動支援	B
	37	競技スポーツ強化支援事業	B
(9) スポーツ情報の充実	38	スポーツ史発行に向けて記録等の情報収集及び保存	B
	39	スポーツカレンダーの発行	B
(10) 社会体育施設・設備の整備・運営	40	体育施設の総合的な修理修繕と運営	B
	41	体育施設利用団体会議開催による有効活用意見の聴取	B
(11) キャリア教育の推進	42	チャレンジショップ	B
4. 歴史・文化・芸術			
(1) 文化財の保護・保存 (歴史民俗資料館)	1	県史跡「藩境塚」「野辺地戦争死者の墓所」ほか管理	B
	2	旧野村家住宅離れ（行在所）の公開と維持管理	B
	3	文化財の指定推進	B
	4	国指定重要文化財・土偶複製品作成事業	B
	5	土偶愛称募集事業	B
	6	文化財活用事業	B
(2) 郷土の歴史・文化・芸術の保存及び継承 (歴史民俗資料館)	7	民俗芸能の保存と継承	C
(3) 資料館施設の整備 充実 (歴史民俗資料館)	8	特別展・各種講習会等の普及事業の開催	B
	9	資料のデータベース作成	B

## 6. 事務評価委員の施策分野の総括・総評

### (1) 教育委員の活動

教育委員の活動の様子や会議内容が、町民にも分かるような取組をしてほしい。

教育委員の募集は、町の広報で見かけるが、活動などの報告については見たことがない。各種広報や掲示物などで広く住民に向けて公表してほしい。それにより、募集の際にも、活動内容を理解した町民が応募してくるのではないのでしょうか。

### (2) 学校教育

学校教育の施策分野では、13ある基本施策のうち21の主要事務事業を取り上げて評価を行ったところ、下記の事業について、検討していただきたい。

#### ①学力向上指導員の配置

A L T補助員については、配置したきっかけが学校からの要望であったとしても、一度、A L Tも含め、学校側にアンケートを取り、英語の授業における有効性について改めて検討していただきたい。

#### ②学力向上支援事業（人財育成助成金）

講師を野辺地町に呼んで、図書館などで夜に学習会を開催して、家庭での勉強の仕方を学ばせるのもいいと思う。

#### ③小・中作品展の開催及び音楽交歓会の開催

中学生の演奏を、小学生が聴くことができる非常にいい機会だと思う。可能であれば、プロの団体を呼んで、一流の音楽を聴かせてあげたい。

#### ④バイキング給食の日

子どもたちはとても楽しみにしていて、素敵な取り組みだと思う。食事のバランスを考えて、何をどのくらい食べるか勉強になる。また、修学旅行の際の、バイキングの練習になっている。

#### ⑤大会派遣費補助事業

力はあって色々な大会に参加したいが、金銭的に参加が難しい子どもを援助するという意味で、とてもいい事業だと思う。ただ、どうしても競技に偏りが見られるのが気になる点である。

#### ⑥スクールサポーター配置の充実

限られた予算の中で、学校の要望に応じていただきありがたい。ただ、経験などにより、スクールサポーター間で能力差があるので、資質向上のための取組を行っていただきたい。

#### ⑦英語で元気な町づくり事業

イングリッシュデイは、参加者の年齢の幅を広げて、もっと町民が参加できるようなものになっていけばいいと思う。

#### ⑧児童生徒及び教師へのタブレット端末導入に向けた検討

授業に入ってサポートをしてくれるような支援員を配置できれば、教職員がタブレット端末を使いやすい状況になると思うので、検討をお願いしたい。

⑨学校施設営繕・設備保全

トイレの臭いなどの問題に対して、改修してほしいものは様々あるが、お金が掛かることなので、少しずつでも対応して欲しい。

⑩給食費の未納対策強化

教職員が給食費の徴収をする必要がないため、教職員の負担が軽減されている。徴収するために工夫されているが、古いものに関してはどこかで区切りをつけてもいいと思う。

(3) 社会教育・スポーツ

社会教育・スポーツの施策分野では、11ある基本施策のうち42の主要事務事業を取り上げて評価を行ったところ、下記の事業について検討していただきたい。

①文化賞授与式

小学生は学校で表彰しているため、町の表彰式の集合写真に入らないので、保護者からの確認等、必要な手続きをした上で、学校ごとに写真を撮って広報に載せてみてはどうでしょうか。

②野辺地町文化祭（公民館）

展示の部と比べて、芸能の部の来場者数が少ないので、民謡歌手やカラオケクラブなどを招いて披露してもらってはどうか。

来場者にどういったものを見たいかアンケートをとってもいいと思う。

③成人式（公民館）

今後、実行委員会を新成人で組織することを検討しているようだが、仕切れるような人材を見つけるのが大変だと思うので、計画的に進めてほしい。

式中で流すための動画はなかなか入手できないということなので、写真をスライドショーにして流してはどうか。

④子ども会事業

子ども会が年々少なくなっていく中で、町が子ども会の事業を組むのはとても大変だと思う。今後は、子どもたちを世話をしてくれるリーダーを育成するような取組について検討してほしい。

⑤ふるさと探偵団

町にとって歴史的に重要なことをテーマにしていると思うが、参加する子どもの視点に立って、魅力的なテーマにしてほしい。また、アピールの仕方にも工夫が必要だと感じた。

同じテーマで何回か実施することで、深い学びになり、より町の良い点に気付くきっかけになると思う。

⑥ふれあい通学合宿

馬門小学校の児童は、少人数で参加しづらいと思うので、子どもたちが親しみやすい人を用意するなど、参加しやすくなるような取組をお願いしたい。

⑥ふれあい教育フェスティバル

テーマによって来場者数に差がありすぎるので、内容を工夫してほしい。

⑦生涯学習大学

様々な内容の講座を実施し、工夫されているが、若い人の参加が少ないのが残念なので、広報する際に、参加者の感想などを紹介してみてもいいでしょうか。

⑧図書館サークル・おはなしボランティアの育成（図書館）

高校のボランティア部などの団体に声掛けするなどして、指導者不足について対応していただきたい。

一般市民も参加できる図書館を巡るツアーを実施して、そこで読み聞かせ会もやってみてはいかがでしょうか。

⑨いのちのお話出前講座

保護者は会場が自分の子どもが通っている学校でないと、なかなか行かないと思うので、持ち回りではなく、各学校で実施してほしい。

⑩健康ウォーターマラソンスタンプラリーの開催について

近年において、単年度で400キロ完歩できる人がいないようなので、複数年の累計で完歩するような形にしてもいいのではないのでしょうか。

⑪青森県小学生スキー大会

競技役員などの協力者が年々高齢化して、人数が少なくなってきているので、広報などで町民に対し、運営スタッフのボランティアを募ってほしい。

⑫青森県民駅伝競走大会選手強化支援

大会が終わった後の報告は広報に掲載されているが、大会前にメンバー紹介や練習の様子を広報に載せてみてはいかがでしょうか。

#### （４）歴史・文化・芸術

歴史・文化・芸術の施策分野では、3ある基本施策のうち9の主要事務事業を取り上げて評価を行ったところ、下記について検討していただきたい。

①県史跡「藩境塚」、「野辺地戦争死者の墓所」ほか管理

藩境塚から上にある駐車場までの道が、少し雨が降るとかなり足元が悪くなるので、整備してほしい。

②旧野村家住宅離れ（行在所）の公開と維持管理

役場庁舎が移転してからの話になるだろうが、整備して、公園のようにできたらいいと思う。せっかくいい財産なので、近くの土蔵とセットで残して、カフェにするなど有効に活用してほしい。

③民族芸能の保存と継承

沖揚げ音頭の後継者として、小学生は難しいと感じる。20、30歳代の人たちがやってくればよいと思う。中学生、高校生にもお願いしてみてもいいでしょうか。

## (5) 総 評

平成29年度の主要事務事業全体を通じて、基本方針に沿って多くの効果的な事務事業を展開しており、概ね良好な執行状況であると思われる。担当した職員からの事業説明を受けた際には、限られた予算の中で、いかに町民にとって有益な事業となるかを考えて、努力している姿勢がうかがえた。そういった部分は今後も継続して、事務事業の執行にあたってほしい。

ただ、今後の更なる野辺地町の教育の充実に向けて特に以下の点について言及したい。

一点目は、野辺地町特有の取組を含め、数多くの事業があるにも関わらず、そういった事業に町民の参加者が期待しているよりも少ないことである。これについては、町民が興味を持ち、多くの町民が参加するような、広報活動のより一層の工夫をお願いしたい。また、その事業自体が町民のニーズに沿ったものであるか、改めて吟味していただきたい。

二点目は、各事業団体における指導者の育成についてである。少子高齢化に伴い、多くの事業団体における指導者の高齢化が見うけられる。今後の継続的な事業の推進を考える際、若年層を対象とした、新たな指導者の育成を目指す取組が必要である。地域住民の協力を得ながら、今後、重点的に進めてほしい。

最後に、点検・評価は、ともすると評価項目についての報告書を作成することが目的になりがちであるが、本来はそれに基づいて必要に応じた改善を図ることが重要である。前年度と同様の指摘を受けた事務事業も見うけられるので、次年度以降に充実が図られるようお願いしたい。しかしながら、職員は本事務評価の項目の他に、多くの事務を抱えている中で、日々、全体の奉仕者として事業の改善に励んでいることについては評価したい。今後も教育行政の振興に努めてほしい。